（第２号様式）

令和５年４月１日

神奈川県教育委員会教育長　殿

県立上矢部高等学校長

令和５年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和2年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の主体的な学習と、進路実現のための精選された教育課程編成を行う。また、各教育活動の相互交流が可能な教育課程の編成を行う。 ②生徒のわかりやすさに配慮した組織的な授業改善や、主体的な学習習慣の育成に取り組む。	①本校の特色ある教育課程の運用を図る。生徒の進路実現に向けた選択科目の精選を行い、相互交流の教育活動の展開を実現する。 ②主体的･対話的で深い学びの視点、及びインクルーシブ教育推進を踏まえた授業改善を一層推進し、ICT の効果的な活用に努める。	①効果的に教育課程を運用し、状況に応じて教育課程を修正する等のカリキュラムマネジメントに努める。 ②教員相互の授業参観や研究授業を、年間を通じて組織的･計画的に行う。ICT の授業への活用推進に組織的に取り組む。	①本校の生徒の特性に応じた授業を展開するために効果的なカリキュラムマネジメントができたか。生徒による授業評価の結果が向上したか。 ②個々の教員の授業の質の向上を図れたか。授業におけるＩＣＴの効果的な活用が推進されたか。					
2	生徒指導・ 支援	①生徒一人ひとりの個に応じた支援・相談体制の充実を図る。また、基本的な生活習慣の確立を図る。 ②生徒が主体となった部活動、学校行事等を推進する。	①生徒一人ひとりの困難さやニーズに合わせた支援体制、外部機関との連携を含めた相談体制の充実を図り、課題の解決にあたる。生徒の基本的な生活習慣の確立を図る。 ②特別活動等において、生徒が主体的に活動し達成感等が得られるよう支援し、課題解決能力の向上を図る。	①規範意識を高め、ルールやマナーを守る指導を行う。登下校指導、遅刻防止指導を行う。支援を必要とする生徒に支援を行う。 ②生徒が主体的に切磋琢磨し、計画･運営できる場面を多く設ける。行事などが、コロナ前に少しずつ戻ることも踏まえて生徒の活動を支援する。	①基本的生活習慣が改善されたか。教育相談連絡会やケース会議を、支援の必要な生徒に生かし、課題の解決につながったか。 ②生徒会行事を通して、９０％以上の生徒が達成感を持てたか。					
3	進路指導・ 支援	①多角的な視点を持ったキャリア教育を展開する。	①生徒の個性や進路意識の段階を踏まえ、個に応じたキャリア教育を推進し実践する。キャリア教育の視点を生かした教科指導、特別活動の指導内容等を研究する。	①生徒･保護者から情報を収集し職員で共有する。教科指導、特別活動等とも連携し、多面的なキャリア教育を実践する。	①生徒の個性や意識を踏まえた多面的なキャリア教育を実践できたか。					

	視点	４年間の目標 （令和2年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	②生徒・保護者への情報提供の機会の充実と、相談体制の確立を行う。	②生徒・保護者対象の説明会の実施、及び面談時の進路情報の提供の機会や内容を充実させる。	②生徒･保護者のニーズに応じた多様な形態のガイダンスや指導方法を研究･実践する。	②説明会、面談等での進路情報の提供、情報発信が適切で充実したものであったか。進路未決定者を５％以下にすることができたか。					
4	地域等との協働	①地域と連携し、学校の特色を周知するとともに生徒の社会性を育成する。 ②地域との協働による幅広い教育活動の場面を設定する。	①学校の教育活動を説明会や電子媒体、生徒の発表等で地域等に向けて発信し、地域との協働や地域貢献活動の充実を図る。 ②地域の教育力を活用できる仕組みの充実と開拓を進める。地域社会における教科「キャリア」の教育活動の実践を図る。	①PTA等との連携した活動によって、学校の教育活動を地域に発信する。地域の活動に生徒が参加できる場面を設定する。 ②説明会やイベント等での生徒の活躍の機会を設定する。教科｢キャリア｣の教育活動を実践し、その効果を学校全体で共有する。	①学校の教育活動を地域に向けて発信できたか。地域の活動に生徒が参加できたか。 ②生徒の地域での生き方や在り方のイメージづくりにつながったか。					
5	学校管理 学校運営	①全職員の共通理解のもと人権に配慮した生徒への対応を行う。 ②安全・安心で信頼できる学校環境の整備を行う。業務の効率化を行う。	①職員の共通理解のもと、人権に配慮した生徒への対応等、教育活動を行う。 ②業務の効率化を進めるともに、不祥事防止に取り組む。成績処理や会計処理等を正確に行う。	①障がい者、マイノリティに対する理解等、人権に配慮した研修を行う。 ②勤務時間内の会議の徹底や業務内容を精査し効率化を推進する。不祥事防止点検シートを活用し研修を行う。	①人権に配慮した教育活動を再確認できたか。 ②働き方改革を意識し業務効率化に努めたか。ハンドブック等に基づき適正な事務･会計処理を行ったか。					